

車にボトムカバーを簡単装着！

〈水害から車を守る〉

ネプチューンカーフロート  軽1BOX 型番：NF-010

- シート装着：駐車中の車を大雨による水没から守ります。
- BCP対策：水没した車が使えない機会損失を防ぎます。
- 簡単装着：広げたシートに車を載せて、シートを車の下部から包むだけ。
- 小型軽量：車のトランクに収納できます。



装着なし

装着あり



- ① シートカバーの上に車を移動
- ② 屋根にベルトホルダーを被せます
- ③ ボトムカバーで車を下部から包むだけ

●各種オプション商品（近日発売予定）

1. ロストストッパー
（流失防止ベルト）



2. トップカバー
（水侵入防止カバー）



3. カーフェンダー
（衝突プロテクター）



●製品：軽自動車用の2種類

軽自動車 1BOX用（型番：NF-010）

軽自動車トラック用（型番：NF-020）

※軽自動車トラック用は近日発売予定



携行しやすい保管用バッグ付き

●軽自動車以外の各種自動車については、条件により特別注文のご相談を承ります。



普通車、セダン（タクシー車）、クラシックカー、
ボックス（例アルファード）、高級車、
バス、トラック、消防車、救急車、特殊車 他

※詳細は、なぜ浮くのか、安定性等の解説は裏面をご参照ください。

※水上での車浮上動画は、下記 QRコードや当社ホームページ、
及び、YouTubeをご覧ください。

NEPTUNE CAR FROATリンクページ↓



特許
出願中





特許商標登録多数取得出願

1. なぜ、重い鉄製の車が水に浮くのか～空気が水より軽いから

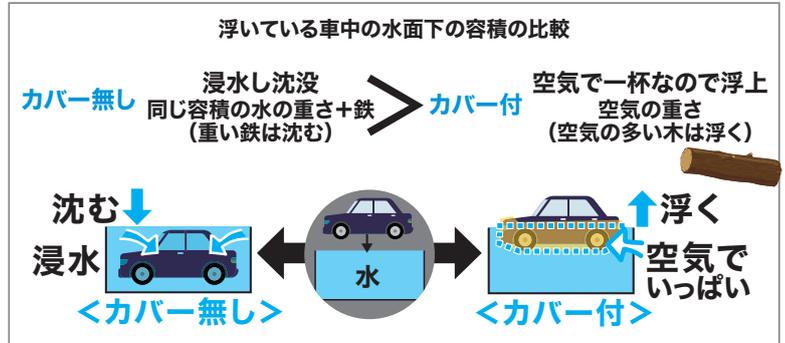
なぜ、車は浮くのか？→浮力による
アルキメデスの原理と空気と水の比重差

プールに水を一杯に入れてそこに車を入れると溢れた水の分の水と車の中の空気の重さの違いで車を押し上げる。これが車が船のように浮く原理です。このとき水が車の高さ（位置）のどこになるかが喫水線です。

例えばボックス型軽自動車为例として概略の説明をします

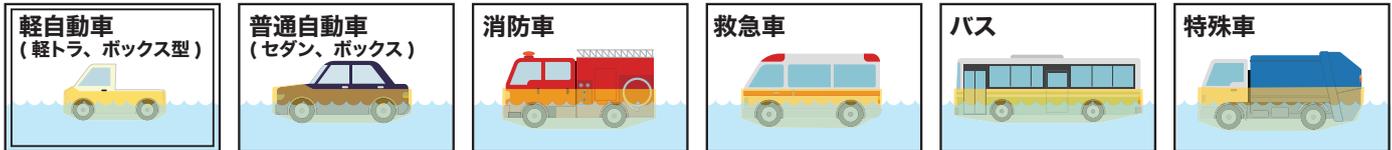
- ・喫水線＝車の（重量）/（車の底面積＝全長 × 全幅）
車は四角形の箱でないので補正が必要です。
補正係数は実際のデータから 0.6 とします。

- ・車の諸元 カタログ等から：重量（空車）1000Kg 相当 全長 340cm 全幅 148cm 底面積 約 50320 cm² 約 50Kg
- ・喫水線＝1000/50＝20cm 実際にはタイヤの高さが 17cm から 20cm あるので地上から約 40cm の位置
- ・実測値は約 40cm カバーの深さが 80cm なので約 2 倍の余裕があります。
- ・総重量 1600Kg になると約 52cm 程度になります。



2. 各種自動車の喫水線シュミレーション（ボトムカバー水位イメージ）

※軽自動車以外の各種自動車については、条件により特別注文のご相談を承ります。



3. 船舶法

●車浮上のネプチューンは、登録対象外船舶項目に該当する為、免許、検査、登録は不要です。

国土交通省規定条項

- 全長 3m 未満、2 馬力 未満の船舶
→ マイクロカーに船外機付
- 推進機関及び帆装を有しない船舶
→ プカプカ浮くだけのこれらのネプチューン全て
- 係留船 → 航行しない船舶

※日本小型船舶検査機構登録対象外の船舶
(<http://jci.go.jp/registration/taishou.html>) より引用



4. 転覆安定性（復原力）

一般の船に比べ非常に高い安定性

●復原力が非常に大きく、転覆し難い理由

- 自動車の全長対復の大きさは船の 2.6 倍、幅が大きくなると浮力の移動可範囲も大きくなり安定する
- 重心の低さにより安定する（車の重心が低いことから、メタセンサーが重心よりも上になるため）
- 高い復原力を持っているのでバランス性能が高く、抜群の安定感がある
- 船舶の船底が円形なのに対して、車は 4 つのタイヤがシート底を平らにする効果となり安定する



株式会社 リンテック21
www.lintec21.com

製造・販売：株式会社リンテック21
〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-5-2-805